

鹿児島県漁海況週報

平成28年1月21日発行(1月14日～1月20日)
第2639報【旧暦：12月5日～12月11日/月齢4.1～10.1/潮汐：中潮～若潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

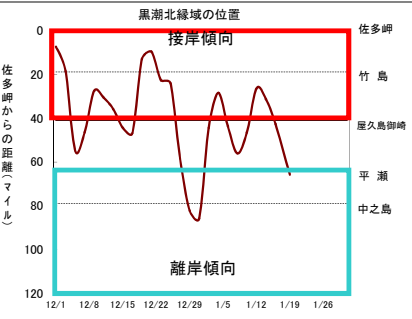
黒潮北縁域は、1月19日現在、平瀬の南1.8マイル付近にあり、離岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月19日現在、67マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、竹島で1.0℃昇温し、その他の海域で0.4～2.0℃降温した。
平年比較では、屋久島御崎、中之島で“著しく高め”、黒潮流域、竹島で“やや高め”、佐多岬で“かなり低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	23.1	-1.0	+0.7	やや高め
鹿児島	17.3	-0.7	+0.4	平年並
佐多岬	17.4	-1.3	-1.0	かなり低め
竹島	21.3	+1.0	+1.2	やや高め
屋久島御崎	22.7	-1.0	+1.8	著しく高め
中之島	23.4	-0.5	+1.3	著しく高め
笠利崎	21.7	-0.8	+0.2	平年並
与路島	21.7	-0.5	+0.1	平年並
与論	22.0	-0.4	+0.1	平年並
甌海峡	17.3	-2.0	+0.1	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は1/17～1/20
串木野一甌定期客船観測は1/20

【漁況】

※時化のため、全般に低調な漁模様であった。

○定置網

西薩南部海域では、1日のみマルソウダ(600g)が1トン、サワ(700～900g)が2.5トン、ブリ(4～8kg)が50尾の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、1日のみマアジ豆が450kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マルソウダ(300g)が160～480kg/日、ハガツオ(2kg)が90～300kg/日、チウオ(0.7～1kg)が20～40kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で37統がサハ類中、ソウダガツオ、マアジ小主体に22トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ、チウオ、マアジ主体に1.5トンの入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、5～7kgサイズを5～20尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、1日のみ5～6kgサイズを15尾/統の漁。大隅半島南部海域では、5～7kgサイズを100尾/統・日の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、1～8箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2～5箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

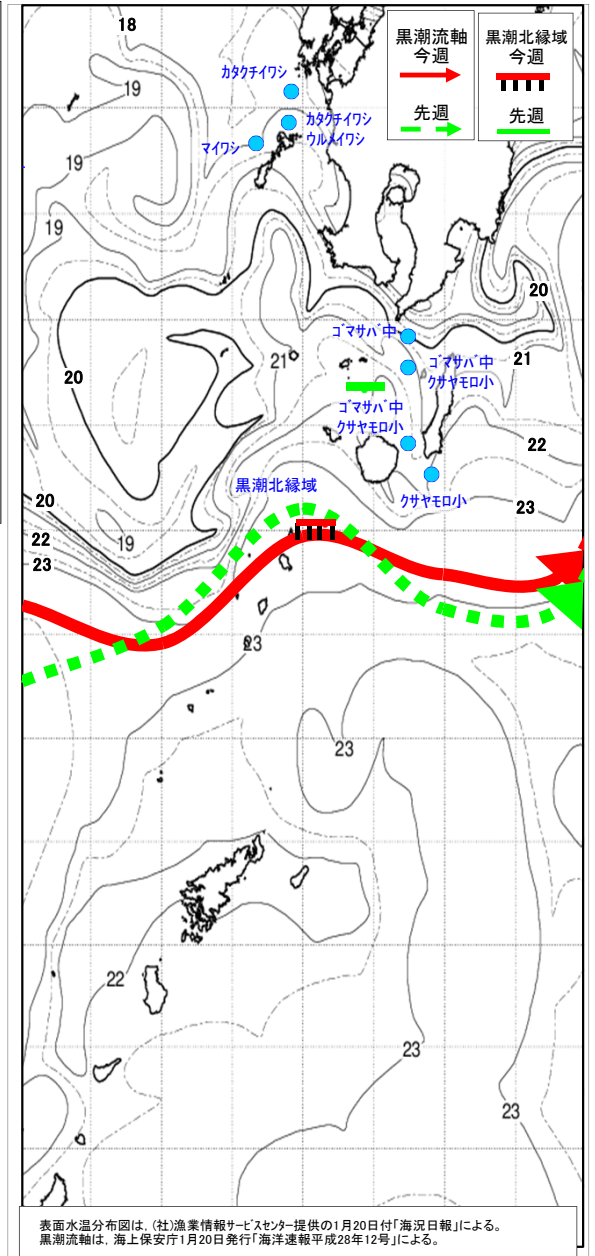
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2590報)					
						1日1統	前週 隻数	前週 漁獲量	前年同期 隻数	前年同期 漁獲量	
旋網	阿久根	大	1	22	牛深沖	カタチイワシ98	21.6	4	61	3	68
		中	8	273	縄瀬	カタチイワシ74 ウルメイワシ24	34.1	9	353	5	37
	枕崎	大	5	306	縄瀬 甌西	カタチイワシ93 マイワシ6	61.1	6	464	10	470
		中	10	300	佐多沖 島間沖 馬毛島 種子島南	ゴマサハ中64 クサヤモロ小23	30.0	17	665	12	231
	内之浦	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
計	大	6	327	—	—	54.5	10	525	13	538	
	中	18	573	—	—	31.8	26	1018	17	268	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	1	1	1	カツオ92 カツオ類7	0.7	0	—	2	364	
棒受網	阿久根	15	32	長島 阿久根沖	ウルメイワシ90 マイワシ小6	2.1	9	12	18	25	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	37	22	—	サハ類中30 ソウダガツオ26 マアジ小18	0.6	52	28	54	14	
刺網	阿久根	40	3	阿久根沖 長島 甌	キビナゴ100	0.1	63	5	64	5	
	大	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	小	0	—	—	—	0	—	0	—	
		海旋	0	—	—	—	—	0	—	1	734
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
		海旋	1	770	—	カツオ小49 カツオ中29 キハダ14	769.7	1	169	0	—

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、大トビを19～46箱/統・日の漁。

○その他

甌島海域では、曳網で多い船でハガツオ(2kg)を20尾/日、スマ(2kg)を20尾/日の漁。西薩海域では、刺網でヒラメ(1～4kg)を10～40尾/隻・日の漁。一本釣りでもアジ(400～500g)を80～90尾/隻・日の漁。ごち網でマダイ(1～1.2kg)を20kg/隻・日の漁。延縄でキダイ(300g)を20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(0.8～2kg)を5～13尾/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でチウオ(200～300g)を30kg/隻・日、コイトヨリ(200～300g)を15～20kg/隻・日、ハモ(500～600g)を10kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りで1日のみマダイ(5～7kg)を20～45尾/隻、アオダイ(0.6～1kg)を100kg/隻、ゴマサハ(600g)を60kg/隻、ハマダイ(3～4kg)を50kg/隻の漁。奄美南部海域では、一本釣りの3日操業でキハダ(45kg)を13尾/隻、ピンナガ(14～15kg)を20尾/隻の漁。一本釣りの日帰り操業でチウオ(1.5kg)を20kg/隻の漁。旗流しの3日操業でソウダガツオ(胴体のみ7～13kg)を33ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月20日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁1月20日発行「海洋通報平成28年12号」による。